

事業者の取り組み

1 自然環境を良好に保全するために

市内の緑は開発事業などによって年々減少しつつあります。緑地や水辺空間は、自然と私たちとの「つなぎ手」になります。これからも自然と共存し続けていけるような環境づくりが大切です。また、自然観察会などによって積極的に自然にふれる機会を持ちましょう。

●崖線や雑木林など緑地の保全・復元

- ・敷地内の緑化、壁面・屋上緑化などに努めます。
- ・開発にあたっては、緑の保全に努めます。
- ・崖線、公園などの身近な自然の管理や清掃に参加・協力します。

●湧水の保全、野川の整備、雨水浸透の促進

- ・雨水貯留施設を設置するなど、雨水を有効に利用するとともに、節水に努めます。
- ・敷地内に雨水浸透ますを設置します。
- ・緑や土の面を残して雨水を地下浸透させます。
- ・開発にあたっては湧水保全に配慮したまちづくりをします。

●地域在来の動植物の保全

- ・敷地内にある自然の保全に努めます。

●農地の保全（農業体験・地産地消の拡大）

- ・新鮮で安全な農畜産物を地元へ供給します。
- ・環境に配慮した農業経営をします。
- ・インターネットなどを利用して農業情報を発信します。
- ・農業体験に協力します。
- ・農地の保全に努めます。
- ・地元で生産された農産物を進んで購入します。



2 快適なまちにするために

国分寺の歴史・文化を大切にしながら地域特性にあった望ましい景観づくりを進めましょう。また日常生活で発生する騒音・振動などの生活公害や事業活動からの騒音などについて発生防止に努力し、より快適なまちを創造しましょう。

●歴史文化の維持・活用

- ・開発や建設を行う際は、歴史的たたずまいや、文化財の保全に協力します。
- ・地域の歴史・文化に関心を向け、伝統行事の伝承活動など社会貢献活動に協力します。

●まちの景観

- ・違反屋外広告物を出しません。
- ・ポイ捨てなどの防止に協力し、まちの美化に努めます。
- ・周りの環境に調和した施設づくりをします。



●騒音・振動・悪臭の防止

- ・工場や建設現場、事業所などからの騒音・振動の発生を抑制します。
- ・荷物の積み降ろしなど深夜・早朝作業の騒音には注意します。
- ・低騒音型、低振動型の機器を使用します。
- ・防音・防振型の施設を整備します。
- ・事業活動にあたっては周辺の環境に配慮し、悪臭を出さないように努めます。

●化学物質の排出削減

- ・有害化学物質の情報の公開に努めます。
- ・有害化学物質の排出防止設備の設置・改善をします。
- ・有害性の少ない代替物質への転換をします。
- ・PCBやアスベストなどの有害化学物質の適正な管理・処理をします。
- ・農薬、化学肥料の使用を控えめにします。
- ・有害化学物質の取り扱いマニュアルを作成し、自主管理を徹底します。
- ・ダイオキシン類などの排出基準を満たした焼却炉を使用します。



3 人にやさしい道路と交通を創るために

車に乗るときのマナーを守っていますか。できるだけ自転車や公共交通機関などの利用によって排出ガスの抑制に努めましょう。

●公共交通機関の利用

- ・公共交通機関などを利用し、自動車利用は控えます。

●事故防止、スピード抑制の徹底

- ・急発進、急加速、スピード運転はしません。
- ・適正速度を守ります。

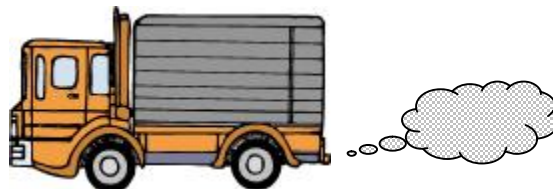


●自転車の利用

- ・店舗や事業所、集合住宅に駐輪場を確保します。

●排出ガスの抑制

- ・荷物の積み降ろし時などの不必要なアイドリングはしません。
- ・トランクを整理し、不必要な荷物は載せないようにします。
- ・エアコンの使用を控えめにします。
- ・低公害車を購入します。
- ・事業所内でノーマイカーデーなどを実践します。
- ・効果的な自動車利用に努めます。
- ・車の点検・整備をすることで排出ガスの抑制に努めます。



4 環境への負荷を低減するために

一人ひとりがものを大切に、ごみの発生を抑えて環境への負荷を軽減させましょう。事業者も市民の取り組みを支援するシステムを構築しましょう。

●ごみの減量化の推進

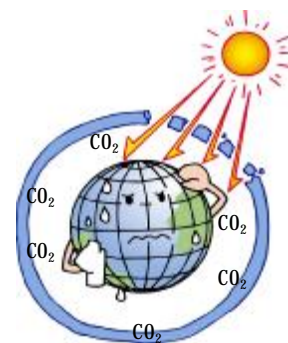
- ・簡易包装を心がけます。
- ・ごみの発生抑制、資源化に努めます。
- ・再資源化や再生利用しやすい製品の販売、利用に努めます。
- ・リサイクル協力店に加入します。
- ・ごみの減量を図るため、ごみの分け方・出し方のルールを守ります。
- ・使用済製品の回収システムを整備します。
- ・グリーン購入を推進し、リサイクル商品及びリサイクルが容易な製品を購入します。
- ・購入先に返せるもの（容器など）は戻します。
- ・使い捨て容器などの使用を控えます。
- ・洗剤などは、詰め替え可能な製品を購入します。
- ・両面印刷・両面コピーの励行、ペーパーレス化の推進等で紙使用量の削減を図るとともに使用した紙のリサイクルに努めます。

5 地球環境を守るために

地球環境問題は利便性のみを求めてきた日常生活によって引き起こされています。エネルギーの有効利用を推進するとともに、環境問題について正しい知識を持ちましょう。

●省資源・省エネルギーの促進

- ・電気、水道、ガスの使用量を把握し、節電、節水などに努めます。
- ・省エネルギー型製品（石油、ガス、電化製品、照明器具、自動車、建築物など）を購入します。
- ・太陽光等の自然エネルギーの利用を図ります。
- ・エコドライブの実践で燃料の節約に努めます。



●地球温暖化防止対策

- ・製品の生産や輸送過程において、温室効果ガスの排出を抑制します。
- ・地球温暖化防止対策として、緑を守り増やす活動などの広域的活動に協力します。